

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 2021年2月10日

【四半期会計期間】 第14期第3四半期(自 2020年10月1日 至 2020年12月31日)

【会社名】 ギークス株式会社

【英訳名】 geechs inc.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 曾根原 稔人

【本店の所在の場所】 東京都渋谷区道玄坂二丁目11番1号

【電話番号】 03-6690-6928

【事務連絡者氏名】 取締役 経営管理本部長 佐久間 大輔

【最寄りの連絡場所】 東京都渋谷区道玄坂二丁目11番1号

【電話番号】 03-6690-6928

【事務連絡者氏名】 取締役 経営管理本部長 佐久間 大輔

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所  
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第13期 第3四半期 連結累計期間	第14期 第3四半期 連結累計期間	第13期
会計期間	自 2019年4月1日 至 2019年12月31日	自 2020年4月1日 至 2020年12月31日	自 2019年4月1日 至 2020年3月31日
売上高 (千円)	2,730,488	1,933,687	3,544,309
経常利益 (千円)	546,837	366,067	675,446
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益 (千円)	347,981	221,095	390,651
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	347,196	221,952	391,102
純資産額 (千円)	3,310,834	3,584,188	3,356,232
総資産額 (千円)	4,405,088	6,029,742	4,700,309
1株当たり四半期(当期) 純利益 (円)	33.74	21.18	37.78
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益 (円)	32.73	20.81	36.74
自己資本比率 (%)	75.2	59.4	71.4

回次	第13期 第3四半期 連結会計期間	第14期 第3四半期 連結会計期間
会計期間	自 2019年10月1日 至 2019年12月31日	自 2020年10月1日 至 2020年12月31日
1株当たり四半期純利益 (円)	7.77	8.40

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 2019年9月1日付で普通株式1株を2株に分割する株式分割を行っております。上記では、前連結会計年度の期首にこれらの株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期(当期)純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益を算定しております。

#### 2 【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

なお、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しております。詳細は、「第4 経理の状況

1 四半期連結財務諸表 注記事項(セグメント情報等) セグメント情報」の「2. 報告セグメントの変更等に関する事項」をご参照ください。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

### 2 【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

#### (1) 経営成績の状況

当社グループはグランドビジョンに「21世紀で最も感動を与えた会社になる」を掲げ、ITフリーランスのデータベース、グローバルで活躍するITエンジニア育成など人材インフラを活かし、インターネットの普及によりめまぐるしく変化する人々の生活や企業の行動を積極的に捉え、変化対応力を強みに、提供サービスの創造・進化を通じて常に成長し続けることで、永続的な企業価値向上を目指しております。当社グループは子会社2社を含む全4事業で構成されており、各事業セグメントは「IT人材事業」、「IT人材育成事業」、「ゲーム事業」、「x-Tech事業」の4つに分類されております。

なお、第1四半期連結会計期間より、事業セグメントの区分方法を見直し、従来の報告セグメント「動画事業」「インターネット事業」から、セグメント統合し「x-Tech事業」に変更しております。前年同四半期累計期間との比較分析については、変更後の区分方法により作成したものを記載しております。

当第3四半期連結累計期間（2020年4月1日～2020年12月31日）におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大の影響による大幅な悪化が長期化し、極めて厳しい状況が続いております。感染範囲が再拡大を始めたことで、経済をさらに下振れさせる懸念が高まり、先行きの不透明さは増大し続けております。

一方で、企業における新しい生活様式への適応に向けた取り組みや、働き方改革の推進など、労働環境の在り方自体が大きく変化する中で、デジタルシフトを進める企業と、新しいライフスタイルや働き方を模索する個人が直面する課題に対して、当社グループが果たすべき役割はより重要になるものと認識しております。

このような状況の中、当第3四半期連結累計期間の売上高は1,933,687千円（前年同期比29.2%減）、営業利益は388,163千円（同28.8%減）、経常利益は366,067千円（同33.1%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は221,095千円（同36.5%減）となりました。

セグメント別の業績は次の通りであります。

#### < IT人材事業 >

IT人材事業におきましては、顧客企業のリモートワーク体制への移行が落ち着いたこともあり、新型コロナウイルス感染症の影響で一時的に抑制されていた企業の人材採用需要の回復傾向がみられました。

集客コストを抑制しながらも、既存業務のデジタル化を進め最適なサービスを提供するためのDXを推進し、ITフリーランス向け福利厚生プログラム「フリノベ」の更なる拡充など、サポート体制の強化に努めてまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における当該事業分野の売上高は1,061,481千円（前年同期比9.4%増）、セグメント利益は601,192千円（同14.7%増）となりました。

#### < IT人材育成事業 >

IT人材育成事業におきましては、合宿型でプログラミングと英語を学ぶことができる「IT留学」が大きな特徴となっております。しかし、新型コロナウイルス感染症の影響により2020年4月以降日本からの渡航が困難な状況となり事業へ大きな影響が出ております。その中で、新たなサービスとして開始したオンライン授業の提供と、オフショア開発に注力することで、影響を最小限にするよう努めてまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における当該事業分野の売上高は80,515千円（前年同期比56.7%減）、セグメント損失は9,546千円（前年同期はセグメント利益16,176千円）となりました。

#### <ゲーム事業>

新型コロナウイルス感染症の影響による巣ごもり消費の需要に加え、運営タイトルの好調もあり、堅調に推移いたしました。このような環境下、株式会社バンダイナムコオンラインから受託開発した「アイドリッシュセブン」をはじめとした3本のタイトルの運営と、新規タイトルの開発を5本行っております。開発ラインが増加していることから、開発状況に合わせた適切なリソースコントロールに注力しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間における当該事業分野の売上高は587,432千円（前年同期比58.6%減）、セグメント利益は42,882千円（同83.9%減）となりました。

#### <x-Tech事業>

x-Tech事業におきましては、VR（仮想現実）・AR（拡張現実）・MR（複合現実）、3Dホログラムなど最新の技術を活用した動画コンテンツの制作、また、ゴルフメディア「Gridge」の運営や、ゴルフをはじめとしたスポーツ領域で企業のIT化支援を行っております。

この結果、当第3四半期連結累計期間における当該事業分野の売上高は207,002千円（前年同期比30.1%増）、セグメント損失は6,860千円（前年同期はセグメント損失17,624千円）となりました。

### (2) 財政状態の分析

#### (流動資産)

当第3四半期連結会計期間末の流動資産の残高は前連結会計年度末と比較して1,240,213千円増加し、5,521,422千円となりました。これは主に仕掛品が1,011,963千円増加したことによるものであります。

#### (固定資産)

当第3四半期連結会計期間末の固定資産の残高は前連結会計年度末と比較して89,220千円増加し、508,320千円となりました。これは主に投資有価証券が79,832千円増加したことによるものであります。

#### (流動負債)

当第3四半期連結会計期間末の流動負債の残高は前連結会計年度末と比較して1,104,573千円増加し、2,389,931千円となりました。これは主に前受金が1,075,795千円増加したことによるものであります。

#### (固定負債)

当第3四半期連結会計期間末の固定負債の残高は前連結会計年度末と比較して3,095千円減少し、55,623千円となりました。これは主にリース債務が3,214千円減少したことによるものであります。

#### (純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産の残高は前連結会計年度末と比較して227,955千円増加し、3,584,188千円となりました。これは主に資本金および資本準備金が6,039千円、利益剰余金が221,095千円増加したことによるものであります。

(3) 従業員

連結会社の状況

当第3四半期連結累計期間において、当社グループの従業員数に著しい変動はありません。

提出会社の状況

当第3四半期累計期間において、当社の従業員数に著しい変動はありません。

3 【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 第3 【提出会社の状況】

#### 1 【株式等の状況】

##### (1) 【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	34,000,000
計	34,000,000

###### 【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間 末現在発行数(株) (2020年12月31日)	提出日現在 発行数(株) (2021年2月10日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	10,485,000	10,485,000	東京証券取引所 (市場第一部)	完全議決権株式であり、権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式であります。なお単元株式数は100株であります。
計	10,485,000	10,485,000		

##### (2) 【新株予約権等の状況】

###### 【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

###### 【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
2020年10月1日～ 2020年12月31日	3,160	10,485,000	796	1,089,034	796	1,039,034

(注) 新株予約権の行使による増加です。

(5) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(6) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（2020年9月30日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

2020年12月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 40,000		権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式であります。なお、単元株式数は100株であります。
完全議決権株式(その他)	普通株式 10,439,900	104,399	
単元未満株式	普通株式 1,940		
発行済株式総数	10,481,840		
総株主の議決権		104,399	

【自己株式等】

2020年12月31日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) ギークス株式会社	東京都渋谷区道玄坂二丁目 11番1号	40,000		40,000	0.38
計		40,000		40,000	0.38

2 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間における役員の異動はありません。

## 第4 【経理の状況】

### 1 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

### 2 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間(2020年10月1日から2020年12月31日まで)及び第3四半期連結累計期間(2020年4月1日から2020年12月31日まで)に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。



## 1 【四半期連結財務諸表】

## (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,559,268	2,860,505
売掛金	1,280,365	1,111,297
商品	66	-
仕掛品	364,943	1,376,906
貯蔵品	423	427
前渡金	927	-
前払費用	65,295	98,675
その他	18,888	76,777
貸倒引当金	8,970	3,167
流動資産合計	4,281,208	5,521,422
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	113,344	91,849
工具、器具及び備品(純額)	14,131	9,137
リース資産(純額)	-	7,266
有形固定資産合計	127,475	108,252
無形固定資産		
ソフトウェア	584	1,135
無形固定資産合計	584	1,135
投資その他の資産		
投資有価証券	30,080	109,912
敷金及び保証金	221,794	221,673
長期前払費用	1,774	10,911
繰延税金資産	37,390	56,434
投資その他の資産合計	291,040	398,932
固定資産合計	419,100	508,320
資産合計	4,700,309	6,029,742

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	811,911	802,076
未払金	33,113	30,398
未払費用	28,130	52,084
未払法人税等	90,533	72,799
未払消費税等	39,145	76,794
預り金	27,914	41,510
前受金	203,471	1,279,267
前受収益	25,734	23,447
資産除去債務	12,248	-
リース債務	13,152	11,552
流動負債合計	1,285,357	2,389,931
固定負債		
リース債務	3,214	-
資産除去債務	55,504	55,623
固定負債合計	58,719	55,623
負債合計	1,344,076	2,445,554
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,086,015	1,089,034
資本剰余金	1,035,958	1,038,977
利益剰余金	1,256,587	1,477,682
自己株式	21,000	21,040
株主資本合計	3,357,560	3,584,655
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	1,495	431
その他の包括利益累計額合計	1,495	431
非支配株主持分	167	35
純資産合計	3,356,232	3,584,188
負債純資産合計	4,700,309	6,029,742

## (2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

## 【四半期連結損益計算書】

## 【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)
売上高	2,730,488	1,933,687
売上原価	1,179,618	568,612
売上総利益	1,550,869	1,365,075
販売費及び一般管理費	1,005,843	976,912
営業利益	545,026	388,163
営業外収益		
受取利息	56	49
講演料収入	-	100
コンテンツ著作権譲渡益	4,500	-
受取遅延損害金	-	313
その他	180	-
営業外収益合計	4,736	463
営業外費用		
支払利息	201	-
為替差損	1,155	4,951
株式交付費	1,568	51
市場変更費用	-	15,859
コミットメントフィー	-	1,697
その他	-	0
営業外費用合計	2,925	22,559
経常利益	546,837	366,067
税金等調整前四半期純利益	546,837	366,067
法人税、住民税及び事業税	147,416	164,173
法人税等調整額	51,396	18,993
法人税等合計	198,813	145,179
四半期純利益	348,024	220,887
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失( )	42	207
親会社株主に帰属する四半期純利益	347,981	221,095

【四半期連結包括利益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	348,024	220,887
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	827	1,064
その他の包括利益合計	827	1,064
四半期包括利益	347,196	221,952
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	347,158	222,153
非支配株主に係る四半期包括利益	37	201

【注記事項】

(会計上の見積りの変更)

(耐用年数の変更)

当第3四半期連結累計期間において、本社オフィスの一部を解約することを決定したため、解約後利用見込みのない固定資産について耐用年数の見直しを行いました。また、本社オフィスの不動産賃貸借契約に基づく原状回復義務として計上していた資産除去債務の使用見込期間の変更を行いました。これにより、従来の方法に比べて、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ23,898千円減少しております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
減価償却費	34,250千円	39,347千円

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

1 配当金支払額

該当事項はありません。

2 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3 株主資本の著しい変動

当社は、2019年4月22日、S M B C日興証券株式会社から第三者割当増資(オーバーアロットメントによる売出しに関連した第三者割当増資)の払込を受けました。また、当第3四半期連結累計期間において、ストック・オプションとしての新株予約権の権利行使がありました。

この結果、当第3四半期連結累計期間において資本金が113,112千円、資本準備金が113,112千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において資本金が1,085,265千円、資本剰余金が1,035,208千円となっております。

当第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

1 配当金支払額

該当事項はありません。

2 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注)1	四半期 連結損益 計算書 (注)2
	IT人材 事業	IT人材育成 事業	ゲーム 事業	x-Tech 事業			
売上高							
外部顧客への売上高	970,060	181,362	1,419,950	159,115	2,730,488	-	2,730,488
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	4,777	-	-	4,777	4,777	-
計	970,060	186,139	1,419,950	159,115	2,735,265	4,777	2,730,488
セグメント利益 又は損失( )	524,177	16,176	267,048	17,624	789,778	244,751	545,026

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額 244,751千円には各報告セグメントに配分していない  
 全社費用 263,194千円及びセグメント間消去取引18,442千円が含まれております。

2. セグメント利益又は損失の合計額と調整額の合計は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を  
 行っております。

当第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注)1	四半期 連結損益 計算書 (注)2
	IT人材 事業	IT人材育成 事業	ゲーム 事業	x-Tech 事業			
売上高							
外部顧客への売上高	1,061,481	77,771	587,432	207,002	1,933,687	-	1,933,687
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	2,744	-	-	2,744	2,744	-
計	1,061,481	80,515	587,432	207,002	1,936,431	2,744	1,933,687
セグメント利益 又は損失( )	601,192	9,546	42,882	6,860	627,668	239,505	388,163

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額 239,505千円には各報告セグメントに配分していない  
 全社費用 256,722千円及びセグメント間消去取引17,217千円が含まれております。

2. セグメント利益又は損失の合計額と調整額の合計は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を  
 行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、社内組織の変更に伴い、従来の「動画事業」と「インターネット事業」を  
 統合して新たに「x-Tech事業」に区分しております。なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報  
 は、変更後のセグメント区分に基づき作成したものを記載しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎並びに潜在株式調整後1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
(1) 1株当たり四半期純利益	33円74銭	21円18銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益(千円)	347,981	221,095
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純利益(千円)	347,981	221,095
普通株式の期中平均株式数(株)	10,314,659	10,438,455
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	32円73銭	20円81銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益調整額(千円)		
普通株式増加数(株)	315,910	186,540
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要		

(注) 2019年9月1日付で普通株式1株を2株に分割する株式分割を行っております。上記では、前連結会計年度の期首にこれらの株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

## 2 【その他】

該当事項はありません。



## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

2021年2月9日

ギークス株式会社  
取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ  
東京事務所

指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	瀬	戸	卓
指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	伊	藤	裕之

### 監査人の結論

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているギークス株式会社の2020年4月1日から2021年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（2020年10月1日から2020年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（2020年4月1日から2020年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、ギークス株式会社及び連結子会社の2020年12月31日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項が全ての重要な点において認められなかった。

### 監査人の結論の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューの基準における当監査法人の責任は、「四半期連結財務諸表の四半期レビューにおける監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、会社及び連結子会社から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

### 四半期連結財務諸表に対する経営者並びに監査役及び監査役会の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

四半期連結財務諸表を作成するに当たり、経営者は、継続企業の前提に基づき四半期連結財務諸表を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

監査役及び監査役会の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における取締役の職務の執行を監視することにある。

### 四半期連結財務諸表の四半期レビューにおける監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した四半期レビューに基づいて、四半期レビュー報告書において独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に従って、四半期レビューの過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- 主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対する質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続を実施する。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

- ・ 継続企業の前提に関する事項について、重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められると判断した場合には、入手した証拠に基づき、四半期連結財務諸表において、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、適正に表示されていないと信じさせる事項が認められないかどうか結論付ける。また、継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、四半期レビュー報告書において四半期連結財務諸表の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する四半期連結財務諸表の注記事項が適切でない場合は、四半期連結財務諸表に対して限定付結論又は否定的結論を表明することが求められている。監査人の結論は、四半期レビュー報告書日までに入手した証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、企業は継続企業として存続できなくなる可能性がある。
- ・ 四半期連結財務諸表の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠していないと信じさせる事項が認められないかどうかとともに、関連する注記事項を含めた四半期連結財務諸表の表示、構成及び内容、並びに四半期連結財務諸表が基礎となる取引や会計事象を適正に表示していないと信じさせる事項が認められないかどうかを評価する。
- ・ 四半期連結財務諸表に対する結論を表明するために、会社及び連結子会社の財務情報に関する証拠を入手する。監査人は、四半期連結財務諸表の四半期レビューに関する指示、監督及び実施に関して責任がある。監査人は、単独で監査人の結論に対して責任を負う。

監査人は、監査役及び監査役会に対して、計画した四半期レビューの範囲とその実施時期、四半期レビュー上の重要な発見事項について報告を行う。

監査人は、監査役及び監査役会に対して、独立性についての我が国における職業倫理に関する規定を遵守したこと、並びに監査人の独立性に影響を与えると合理的に考えられる事項、及び阻害要因を除去又は軽減するためにセーフガードを講じている場合はその内容について報告を行う。

#### 利害関係

会社及び連結子会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

- 
- (注) 1．上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。  
2．XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。